## 令和6年度 砺波地方居宅介護支援事業者連絡協議会総会・研修会

日 時:令和6年5月23日(木) 14:00~

場 所:砺波市文化会館 多目的ホール

塚根会長代行の挨拶後、来賓の祝辞を砺波市厚生センター所長:長瀬博文氏 砺波地方介護保険組合事務局長:藤森俊行氏より頂きました。



演題 「倫理的意思決定支援としてのACP ーケアマネジャーの役割は?ー|

講師 南砺市民病院 院長 清水 幸裕 先生









## 講義

内容 「令和6年度介護報酬改定について」

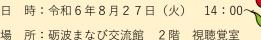
講師 富山県介護支援専門員協議会副会長

南砺市地域包括支援センター長補佐 竹内 嘉伸 氏

- ・意思決定支援とは、<mark>本人の意思の確認</mark>や意思及び選考を<mark>推定し</mark>、それらが困難な場合には、最後の 手段として、本人の最善の利益を検討するための行為及び仕組みをいう。
- ・ACPはナラティブである。周囲の人に自分のナラティブを話す中で自分の価値観に気づき、 周囲の人がその人をそしてその人の人生を理解する。本人のナラティブが豊かになることが大切。

## 令和6年度 砺波地方居宅介護支援事業者連絡協議会第1回研修会





テーマ:福祉用具貸与・特定福祉用具販売について 「もっと気軽につながろう 福祉用具事業者 編」

砺波地方介護保険組合:業務課課長 長田一進氏より挨拶を頂き、業務課主任:立野裕子氏より特定福祉用具販売についての制度 説明を受けました。次に、福祉用具事業者「㈱小野医療器」、「㈱スリーティ運輸」より2事例の発表があり、最後にグループによる 意見交換を行いました。全部で7事業所の福祉用具事業者に、各グループに参加して頂き、楽しい交流の場を持つことができました。



## ~意見交換~

- ・購入することで費用負担の軽減や安心につながった。 体調不安定の方は、判断が難しいなど、選択制のメリット・ デメリットについて意見交換が活発にされました。
- ・福祉用具事業者さんからも、今後のモニタリング時に、 選択制についても盛り込んできますとの意見を頂きました。
- ・サービス担当者会議の開催や申請について、ケアマネジャー の負担の声も多く聞かれました。